

採材検討会を開催しました。

下北森林管理署ではヒバや広葉樹の市場の動向を踏まえ、適切な採材を行い素材の有利販売へとつなげていくために採材検討会を毎年開催しています。

今年度は令和5年9月15日、むつ市大畑町の赤滝山国有林内において下北地域県民局や林業関係者、市場関係者等計28名が出席し開催されました。

検討会では各担当職員から木材需給の動向や青森ヒバの採材の考え方について説明がありました。その後、ヒバの全幹材2本を用いて採材の検討を行い、実際に玉切りを行いました。玉切りを行うまで分からない欠点があり適切な採材を行うことは非常に技術が必要であると実感しました。

また、市場関係者からは広葉樹の採材における留意点について説明がありました。広葉樹の採材は針葉樹と比較して樹種や用途により多種多様であり、木材需給の動向について理解をすることがあると感じました。

当署では、本検討会を関係事業者と木材需給の動向を踏まえながら適切な採材の考え方について共有する非常に重要な場であると認識しています。そのため今後も継続して開催していきたいと考えています。



【採材検討会の様子】